

奥多摩 海沢ボルダー

初めて海沢に行ったのはもう30年以上前になるが、その時は家族で新緑を楽しみに行っただけでボルダーなどは殆ど頭になかったのだが、トンネルを抜けて、その先にある川の側壁である大きなフェイスは、なぜかずっと記憶の中に残っていた。その後、暫くして橋より上流のボルダーでちょっと遊んだことはあったが、ボルダーエリアとしてまとまった形でトライしたのは2007年のことである。陽の当たらない谷底の岩は苔がびっしりと付いており、クリーニングが大変であったが、そこそこ楽しめたという思いがあるのは、30年前に見たフェイスが登れたという満足感があるからかもしれない

このエリアも超マイナーなボルダーではあるが、掃除をする元気があれば、それなりに楽しめるボルダーが幾つかある。一応昔登られたボルダーがあるという情報提供の意味で紹介する。

岩質はチャートでホールドは概ね確りしているが川沿いのボルダーなので、やはり下地が変化することと、苔が付しやすいのが難点である。

アクセスは車利用が基本となる。奥多摩氷川手前で青梅街道を左に左折、海沢大橋を渡りアメリカ村キャンプ場を過ぎ、トンネルをくぐった少し先で対岸に川の側壁であるA岩が見える。小さなボルダーはその先の橋より上流側にある。車は林道横の何箇所かのスペースに駐車可能。



●A岩&B岩

A岩はハイボールなので、ムーブは易しくても緊張感があるのでお薦めできるが、今は皆マットを使うので精神的にはらくだろう。現状は自然に状態に戻ってしまっている。左側から岩上に上がれるので上からロープで懸垂下降し掃除ができる

B岩は、A岩から少し上流の川の側壁。やはり今は自然に戻ってしまっている。



●C岩&H岩

橋を渡った先の踏み跡を川に降りるとC岩がある。3つほどの岩に幾つか課題がある。

H岩は、C岩から少し先の林道が大きく膨らんだ所の道路下の川沿いにある。

山側(道路側)は下地が良好だが、川側のハングの課題は下手をすると川に落ちてしまう。

